


# TOTO

## 密結形ロータンク


商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けください。  
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

### 安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)



施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。  
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の給表示で区分し、説明しています。



	してはけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。
---	-----------------	---	---------------------

### 注意

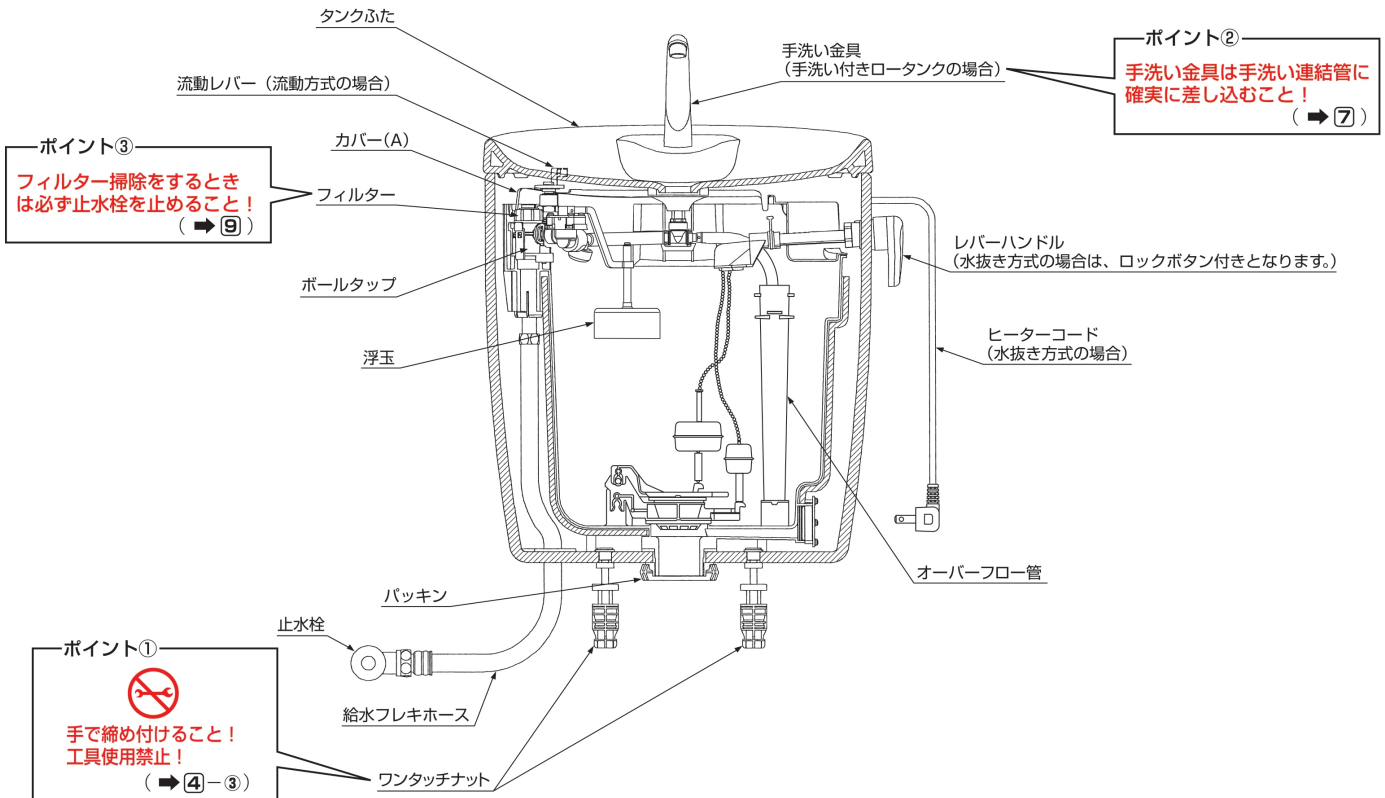
	<p><b>陶器に強い力や衝撃を与えない</b> 陶器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p><b>給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない</b> 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p><b>止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない</b> 止水栓を開めないと水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p><b>設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する</b></p>

### 同梱部品

■陶器タンクから内部金具を取り出します。  
※部品があるか、下記を参照して確認してください。

陶器タンク		タンクふた	
			
大袋			
手洗い金具 (1セット) ※手洗い付きの場合のみ	コードクランプ (2個) ※水抜き方式の場合のみ	ワンタッチナット (2個)	
止水栓 (1セット) ※止水栓付きの場合のみ	施工説明書 本紙 (1枚)	取扱説明書 (1冊)	
小袋			
パッキン			
(1個)			

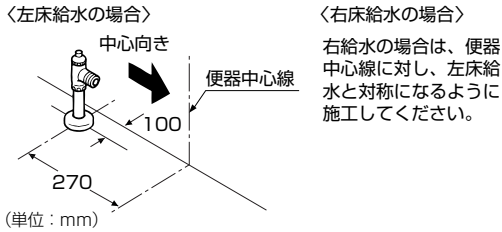
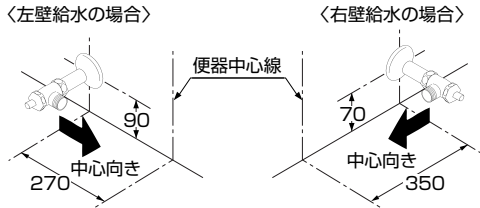
### 各部のなまえと施工のポイント



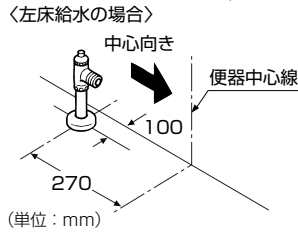
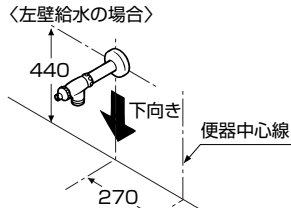
# 取付方法

## 1 止水栓の向き

### 水抜き方式



### 流動方式



〈右壁給水の場合〉  
右給水の場合は、便器中心線に対し、左壁給水と対称になるように施工してください。

〈右床給水の場合〉  
右給水の場合は、便器中心線に対し、左床給水と対称になるように施工してください。

※器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。  
※流動方式壁給水の場合、給水フレキホースが無理なく取り付くように、止水栓の接続口の向きを調節してください。  
※水抜き方式の場合、給水フレキホースの水抜き勾配を確保できるように、取り付けてください。

## 2 便器の取り付け

便器に同梱の施工説明書に沿って、便器を取り付ける。

## 3 ヒーターコードの固定(水抜き方式のみ)

①コードクランプ裏面の剥離紙をはがし、両面テープ面をタンク裏面にしっかりと押さえ付けて貼る。



貼付面に水分やほこりがないようにする  
タンク貼付面をよくふいてから貼ってください。

②電源コードをコードクランプに通し、コードクランプのツメが「カチッ」とロックするまで押さえる。



取り付け後、コードを無理に引っ張らない  
コードクランプがはがれ落ちてしまうおそれがあります。

### ⚠ 注意

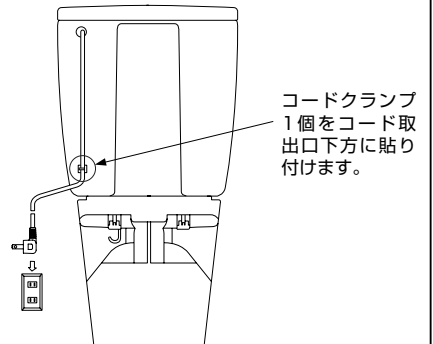


施工後、コードクランプのツメを外す場合には、手で行わない  
マイナスドライバーを使用すると安易に外すことができます。

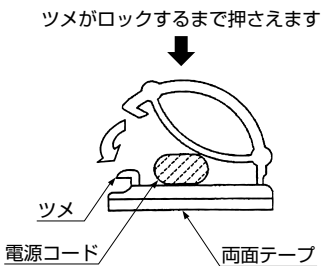
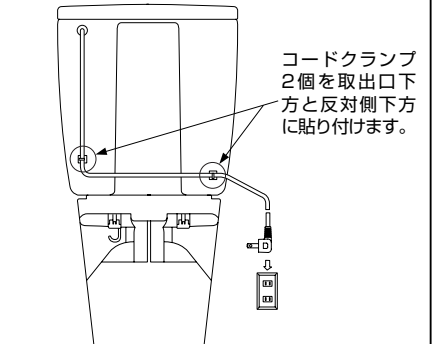
### コードの配線例

(下図のタンクは背面より見た場合を示します)

〈コンセントが右側(便器正面より見たとき)の場合〉

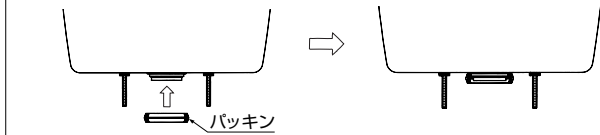


〈コンセントが左側(便器正面より見たとき)の場合〉



## 4 ロータンクの取り付け

① ロータンクにパッキンを取り付ける。

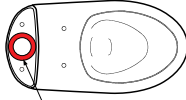


### 注意

- ・同梱のパッキンを上図のように取り付ける  
正しく取り付けないと水漏れします。
- ・パッキンはタンクの底に当たるまで、確実に挿入する

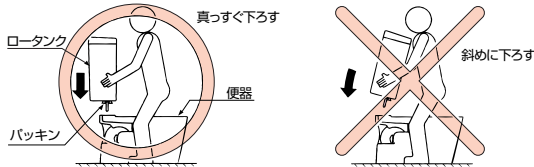
② ロータンクを便器に取り付ける。

便器給水口周辺のごみなどを完全に取除いたあと、ロータンクを便器に取り付けてください。(水で湿らせるとパッキンが滑りやすくなり、施工が確実に行えます)



便器給水口周辺(ごみを取り除き水で湿らせる)

下図のようにロータンクを真っすぐ下ろすように便器に取り付けると確実にシールできます。



### 注意

- ・パッキンおよび給水口周辺のごみを取り除く  
水漏れするおそれがあります。
- ・ロータンクを斜めに下ろさない  
パッキンが正常に取り付かずシール不良で水漏れするおそれがあります。

③ ワンタッチナットでロータンクを固定する。

### 注意

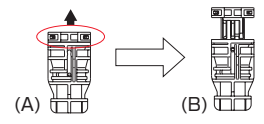


・左右のワンタッチナットを確実に締めること  
左右のワンタッチナットがしっかり締まっていないと、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

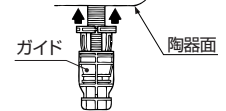
(1) つばが広がっていることを確認します。



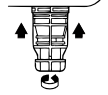
※(A)のとき、つばを引っ張り上げ(B)の状態にします。



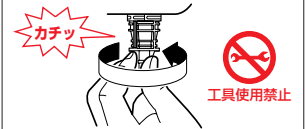
(2) つばの上面が陶器面に当たるまでボルトに差し込みます。



(3) ガイドを少し回しながら押し上げます。



(4) 手締めで、「カチッ」と音がするまで(クリック感があるまで)締め付け、さらに、回らなくなるまでかたく締め付けます。



※再度、左右が確実に締まっていることを確認してください。

### 注意

ワンタッチナットを締め付けるときは必ず手で行うこと。  
工具を使用すると破損するおそれがあります。

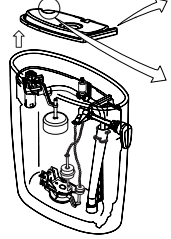
## 5 給水フレキホースと止水栓の接続

- ・給水フレキホースにねじれ、折れなどのないよう接続する。
- ・パッキンを右図の位置に必ず組み込む。



## 6 止水位の確認

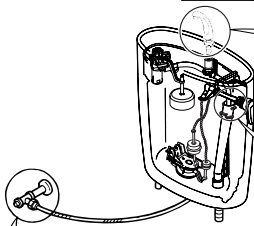
①カバー(A)をいったん外す。



水抜き方式の場合	カバー(A)を持ち上げてそのまま外します。
流動方式の場合	※流動方式の場合は、流動レバーを外さないとカバー(A)が外せないようになっています。 流動レバー ツメ 止め輪 カバー(A)

- (1) 止め輪のツメ部分を広げます。
- (2) 止め輪をスライドさせ、外します。
- (3) 流動レバーを上方向へ外します。
- (4) カバー(A)を持ち上げて外します。

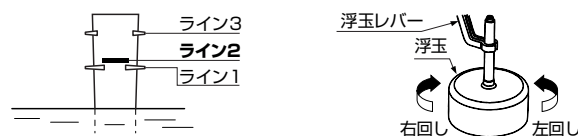
②手洗い連結管に手洗い金具を差し込む。(手洗い付きロータンクの場合)  
※手洗い金具を差し込まずに止水栓を開くと水がふき出します。



④止水位がライン2(標準水位)に合っているか確認する。  
止水位を確認したら手洗い金具を抜いてタンクふたに取り付ける。

③止水栓を開く。

止水位がライン2(標準水位)に合っていない場合のみ下図の要領で調整してください。

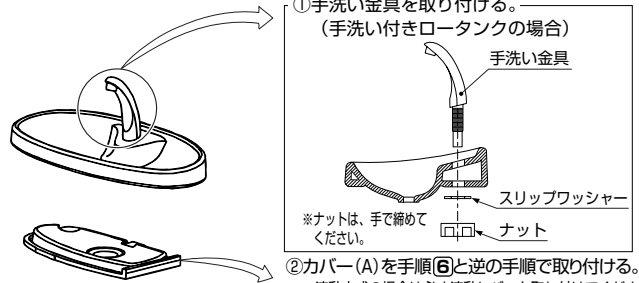


WL表示ラインは、オーバーフロー管の3カ所に止水位をセットできる構造になっていますが、水量に合わせて所定の位置にセットして出荷しています。

- ・右回し……止水位が下がります。
- ・左回し……止水位が上がります。

## 7 タンクふたの取り付け

①手洗い金具を取り付ける。(手洗い付きロータンクの場合)



②カバー(A)を手順⑥と逆の手順で取り付ける。  
※流動方式の場合は必ず流動レバーを取り付けてください。

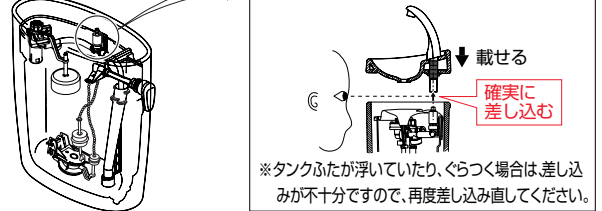
### 注意



水抜き方式の場合、樹脂タンクとカバーの間にヒーターコードを挟まない  
ヒーターコードが断線するおそれがあります。



③タンクふたを取り付ける。



※タンクふたが浮いていたり、ぐらつく場合は差し込みが不十分ですので、再度差し込み直してください。

### 注意



カバーやタンクふたなどは、確実に差し込む  
水漏れの原因になります。

## 8 取り付け完了後の確認

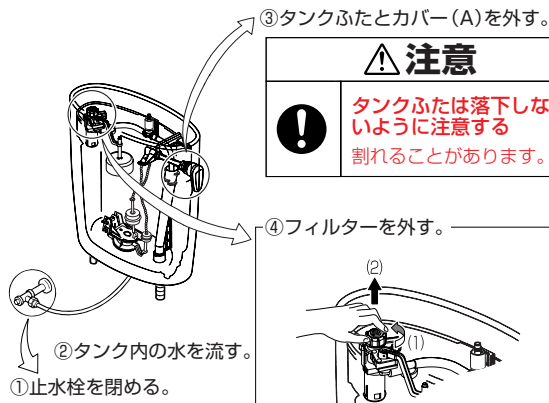
- ・2~3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- ・水の出方が悪いときは、「⑨ フィルターの掃除」を参照して掃除を行う。

# 保守などについて

## ⑨ フィルターの掃除

### ⚠ 注意

- ・フィルター掃除前に必ずお読みいただき手順を守る  
手順を守らないと水漏れするおそれがあります。
- ・フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉めタンク内の水を流してから行う  
水圧でフィルターが飛び出すことがあります。



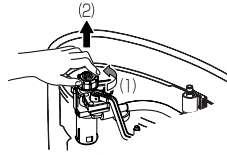
- ① 止水栓を閉める。  
② タンク内の水を流す。

### ⚠ 注意



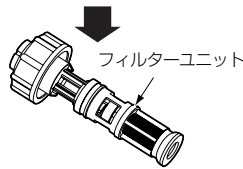
- タンクふたは落下しないように注意する  
割れることがあります。

- ③ タンクふたとカバー(A)を外す。

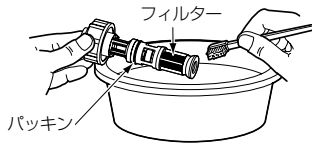


- ④ フィルターを外す。  
(1) 左に回してください。  
(抜けるまで回してください)  
(かたい場合があります。かたい場合は、上部のマイナス形状部分にマイナスドライバーを差して回してください)

- (2) 引き抜いてください。



- ⑤ フィルターの外側を掃除する。



※パッキンを傷付けないようにごみを取り除いてください。

- ⑥ フィルターを付ける。

- ・掃除後は、逆の手順でフィルターを付けてください。
  - ・フィルターは最後までしっかり締め付けてください。
- ※工具を使用しないでください。

- ⑦ 作動の確認。

手洗い連結管を手でふさいでから(手洗い付きロータンクの場合) 止水栓を開き、正常に作動するか確認してください。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

※BL品 (BLマーク証紙貼り付け品) において、当社が定める施工説明書などに基づく据付工事の瑕疵には(財)ベターリビングのBL保険が利用できます。

保険の詳細・お問い合わせは、下記ホームページをご覧ください。  
財)ベターリビング ホームページ: <http://www.cbl.or.jp/>  
電話番号: 03-5211-0559